

5/27 木

岸田文雄首相の長男で、首相秘書官を務める岸田翔太郎氏が昨年末、首相公邸で親族の忘年会を開いていたところが発覚し、批判を集めています。公邸は、首相や家族が居住するだけでなく、来日した海外賓客との会談にも使われています。翔太郎氏は公務に使わなかったスペースでも記念写真を撮るなどしていました。翔太郎氏をめぐっては今年1月、首相の外遊に同行した際、公用車を使って土産を購入したり、観光したりした疑いが問題になりました。公私混同が目撃される翔太郎氏は、首相秘書官としてやれわざなのか。任命した

親族10人以上が集まつて、公邸の忘年会は25日発売の『週

首相公邸の忘年会

主張

刊文書』が報じました。昨年12月30日、岸田首相の親戚あわせて10人以上が集まり、翔太郎氏が赤じゅうたん敷いてくる階段での集会写真の撮影などと騒じていたとされます。赤じゅうたんの階段に腰そくした参加者の写真もありました。この階段は、昨年8月の

国民の不信を広げる公私混同

岸田内閣の改選時に閣僚の記念写真が撮られた場所です。回説は、が目に余る翔太郎氏は、首相秘書官としてやれわざなのか。任命した

相のヨーロッパ外遊では、翔太郎氏がパリやロンドンで大使館の公用車に乗り、観光名所を訪ねて写真を撮ったり、高級店で闇営業の土産品を購入したりしてしまった後に知ったと説明しています。これが『週刊新潮』(2月2日号)で報道されました。この時も公私混同だと批判され、翔太郎氏

は、公用車を乗ることで、政治の信頼回復を強調しました。安倍晋三首相の時代以降あらわになつた国政私選出馬にあたり、「国民の声」を

購入は公務であり問題ないとばかりいました。写真撮影は公邸の情報発信のためのよつた説明が行われましたが、広報活動と使われた形跡はありません。

れ、税金を使って維持管理されています。

岸田首相が翔太郎氏を政務担当に任命したのは昨年10月でした。翔太郎氏が将来、岸田首相の選舉区を引き継ぐと言わ

も問題を残します。

岸田首相が公務である問題などかばいません。写真撮影は公邸の情報発信のためのよつた説明が行われましたが、広報活動と使われた形跡はありません。

私物化に反省があるのか

岸田首相は、昨年、自由党総裁

に選出馬にあたり、「国民の声」を丁寧に聞くことや、政治の信頼回復を強調しました。安倍晋三首相

では、翔太郎氏がパリやロンドンで大使館の公用車に乗ることで、政治の信頼回復を強調しました。安倍晋三首相

は、公用車に乗ることで、政治の信頼回復を強調しました。安倍晋三首相

は、公用車に乗ることで、政治の信頼回復を強調しました。安倍晋三首相の時代以降あらわになつた国政私物化や疑惑があれのモラル崩壊に対する国民の厳しい批判を意識してたものだったといはば明らかです。長男を秘書官に起用し、疑惑を持たれる行為をしてしまっては、公私混同だと批判され、翔太郎氏できなに岸田首相の姿勢は、思ひつけないところでした。岸田首相は、土産の秘書官としての資質を問う声がいきで政治を私物化してしまったとすれば、首相が正統的な使相次ぎました。岸田首相は、土産がかみません。